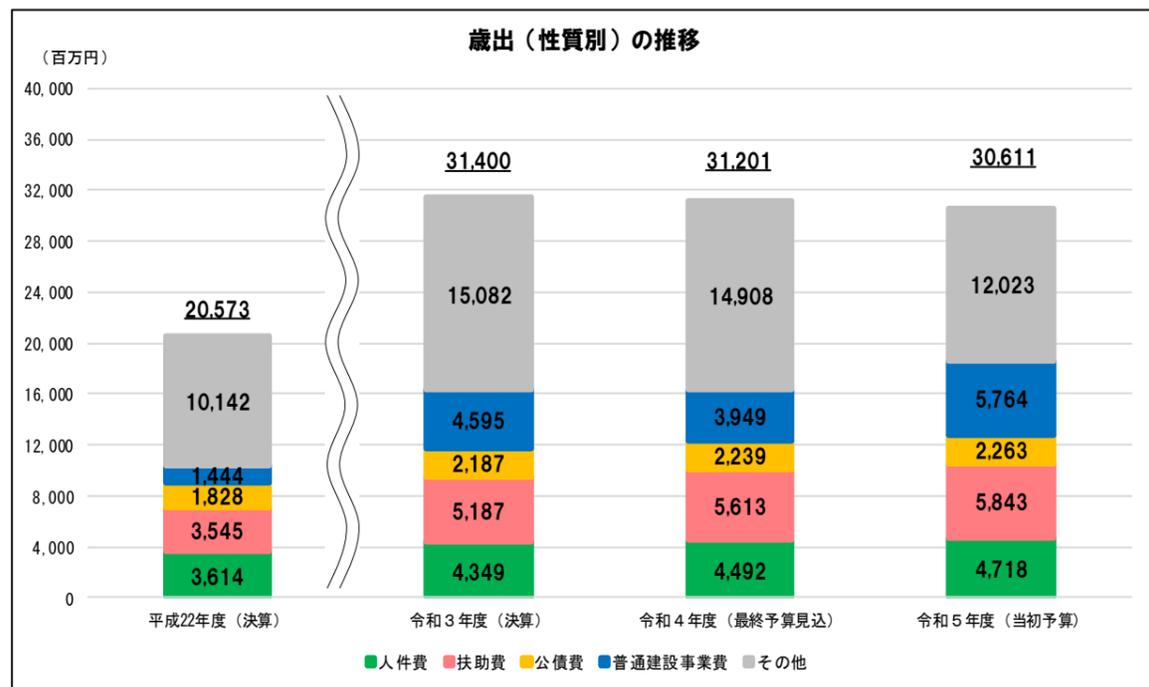
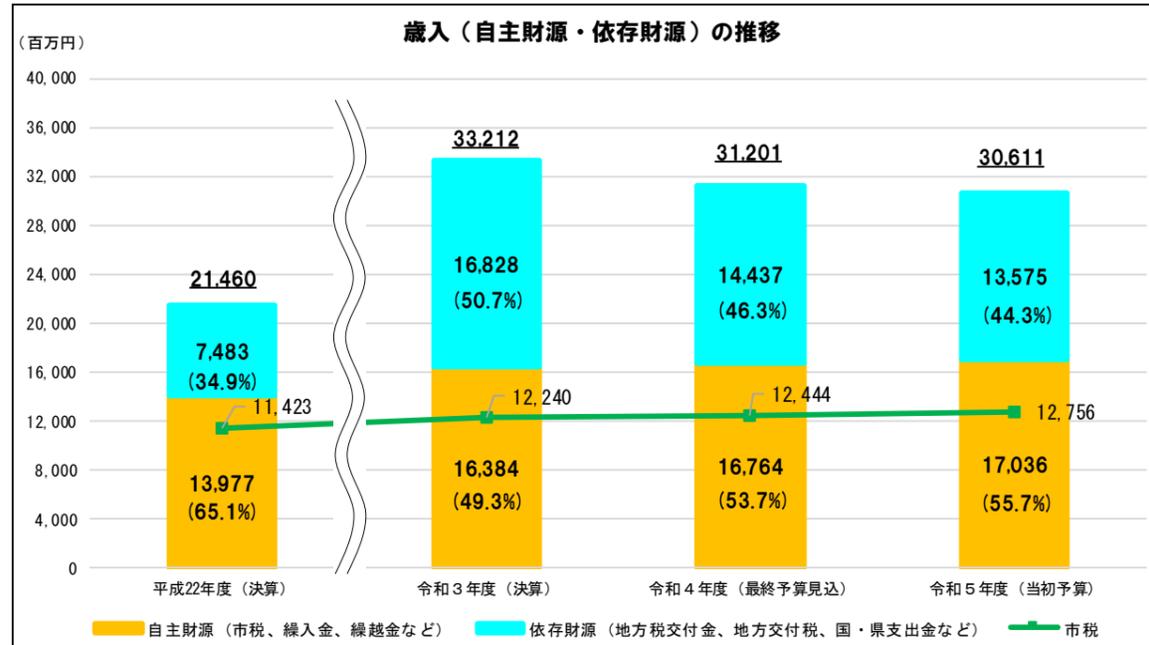


行財政改革推進プランに基づく行財政改革の取組状況等について

1 清須市の財政状況について

(1) 歳入・歳出の状況

- 一般会計ベースの清須市・春日町の合併後の平成 22 年度及び令和 3～5 年度の歳入（自主財源・依存財源）と歳出（性質別）の推移は次のとおり。

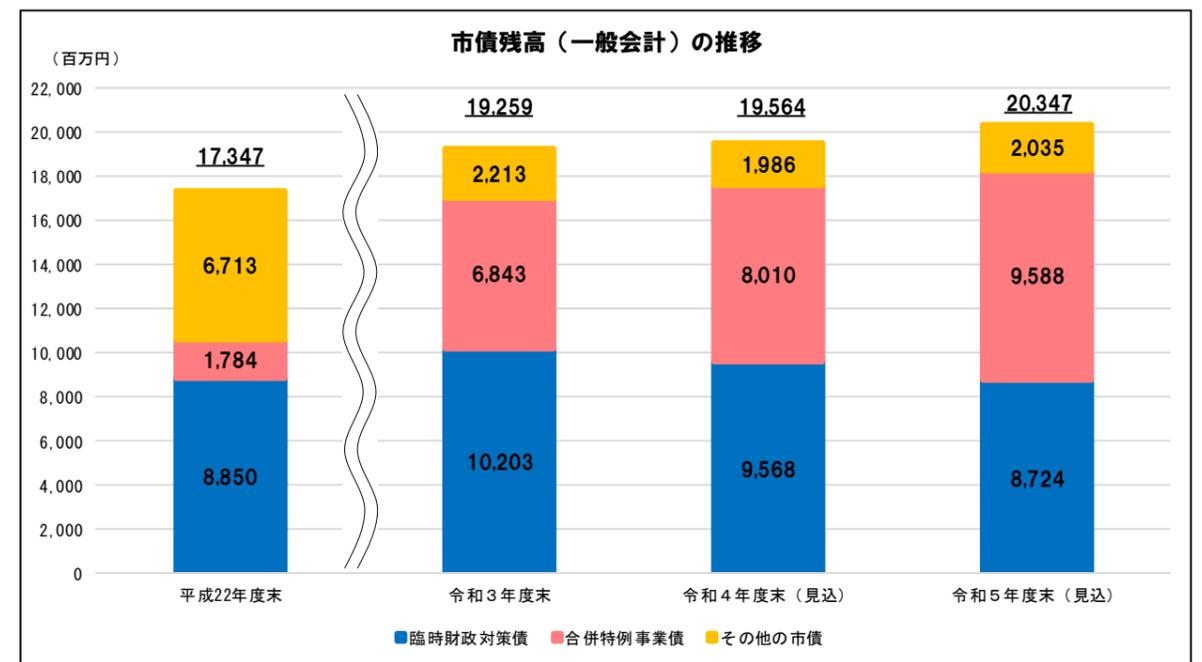


[歳入・歳出の状況のポイント]

- 歳入では、市税収入については、市民税や固定資産税の伸びが見込まれ、自主財源比率についても回復傾向にある。
- 歳出では、障害福祉サービスの増加に伴い、扶助費が年々増加している。また、防災センターの新築や社会教育施設、社会体育施設の整備などの施設整備事業の実施により、令和5年度において普通建設事業費が増加している。

(2) 市債残高（一般会計）の状況

- 清須市・春日町の合併後の平成 22 年度及び令和 3～5 年度の市債残高（一般会計）の推移は次のとおり。

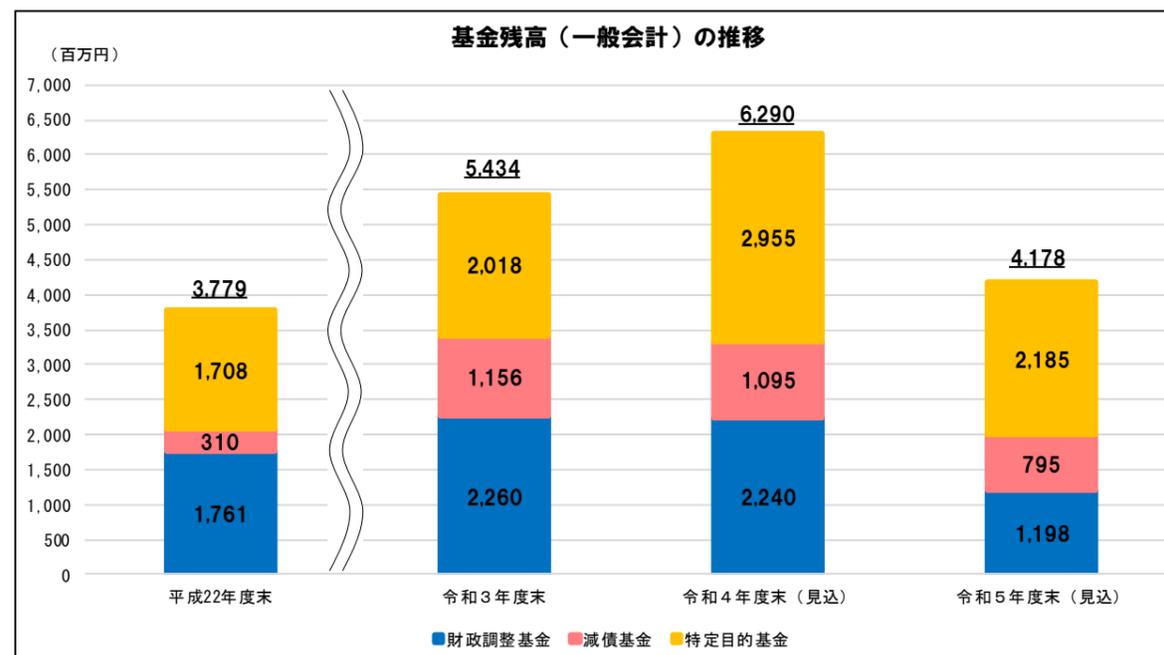


[市債残高の状況のポイント]

- 鉄道高架化をはじめとする都市基盤整備事業や公共施設整備事業などの大規模な事業の実施により、市債残高は高止まり傾向にある。
- 現在も、臨時財政対策債の発行抑制や、市債発行にあたっては合併特例債など交付税措置の手厚い地方債を可能な限り活用することに努めているが、引き続き、後年度に過度の財政負担を残さない取組を継続して実施していくことが必要。

(3) 基金残高（一般会計）の状況

- 清須市・春日町の合併後の平成22年度及び令和3～5年度の基金残高（一般会計）の推移は次のとおり。



[基金残高の状況のポイント]

- 年度間の財源の不均衡を調整する財政調整基金については、当初予算で取崩しを計上しても、決算剰余金などの活用により、一定規模を維持できる見込み。
- 今後見込まれる大規模な事業や、老朽化した公共施設の改修などに要する財源を確保するため、計画的な基金の積み立てを進めている。

(4) 行財政改革の必要性

- 扶助費や公債費などの義務的経費が年々増加しており、これに対応するための財源確保が急務。
- 加えて、より高度で多様化する市民ニーズに応えるとともに、持続可能な社会を構築し、市民生活をより豊かにするため、未来への投資を着実に進めることが必要。
- このためには、予算の重点化・効率化や歳入確保の努力、事業の質の向上など、引き続き行財政改革を推進する必要がある。

2 行財政改革推進プランに基づく行財政改革の取組状況について

(1) 令和4年度の取組による財政効果額（令和5年度当初予算反映分）

- 令和2年度～6年度を計画期間とする行財政改革推進プラン（第4次行政改革大綱）では、「時代の変化への対応と市民サービスの充実」「持続可能な財政基盤の確立」「多様な主体との連携・協働の推進」の3つの改革の方向性に即して、24項目の具体的な取組項目を設定。
- 各取組における効率化等による歳出削減額、新たな財源確保等による歳入増加額を財政効果額として整理。毎年度予算編成とあわせて算定し、プランの進捗管理に活用。
- 令和4年度の取組による財政効果額（令和5年度当初予算反映分）は次のとおり。

No.	プランの取組	事業名等	取組内容	4当初 (千円)	5当初 (千円)	財政効果額 (千円)
取組2	AIを活用した 保育所入所選考 事務の最適化	保育園運営事務 費	保育所入所A I 選考システムの効果的な活用により事務量を削減する。 ※財政効果額は事務に従事する職員の人件費とシステムの維持管理費用を比較(人件費: 1,137千円 システム維持費 476千円)	-	-	661
取組7	窓口業務への民間委託の導入	窓口管理費	民間事業者の取扱いが可能な窓口業務のうち、住民票の写し等の交付など8業務において民間委託を導入。また、令和5年10月より既存の民間委託に加え、総合案内業務も委託予定。 ※財政効果額は一般財源ベース 【令和5年9月まで】 委託期間(3年間)の人件費168,000千円、事業費147,338千円 【令和5年10月以降】 委託期間(3年間)の人件費179,400千円、事業費171,358千円	-	-	4,784
取組17	国民健康保険事業の健全な運営	国民健康保険税	将来にわたって安定した国民健康保険の運営を継続していくため、保険税率を改定 ※財政効果額は歳入ベースの理論値(被保険者数は4年度12,363人・5年度12,349人、一人当たり収納額は4年度96,772円・5年度99,789円)	-	-	38,654
財政効果額 合計						44,099

(2) 令和4年度までの行財政改革推進プランの進捗状況

- 令和4年度までの行財政改革推進プランにおける24項目の具体的な取組項目ごとの進捗状況は、「資料2 行財政改革推進プランの進捗状況（令和4年度）」のとおり。

(3) 行政評価を活用した事務事業の見直し・改善（項目No.13 関係）

- 外部評価を含む行政評価の適正な実施を通じて、施策の今後の方向性を整理した上で、施策目的（目指す姿・達成度指標）を達成するための手段である**事務事業の見直し・改善、特に事務事業の質の向上を図る必要がある。**
- 令和4年度の行政評価結果を踏まえた、主な施策（外部評価の対象施策）の令和5年度の展開は次のとおり。

施策 103 防犯・交通安全対策の推進

施策の達成度指標 ※市民満足度の向上は全施策共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通死亡事故発生件数 ・ 侵入盗（住宅対象）の認知件数 ・ 日頃から住宅侵入盗への備えをしている市民の割合
【施策の主な方向性（令和4年度評価結果より）】	
<p>■ 地域住民からの要望を反映した街路灯及び見守りカメラの設置、犯罪抑止効果のある防犯プレートの配布、すぐメールによる不審者情報の配信等、地域ブロックの自発的な取組と連携しつつ防犯環境を整備し、侵入盗（住宅対象）を始めとした犯罪件数の低減を図る。</p>	
【外部評価の主な意見】	
<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者安全運転支援装置設置促進事業費補助金について、令和2年度と比較し、令和3年度は予算額が減少しており、補助件数も目標値に達していないが、どのように捉えているのか。 ● 防犯プレートやすぐメール等がどのように犯罪減少に寄与しているのか。 	
【令和5年度に予定する主な取組】	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域犯罪防止には、住民の目が必要と考えている。防犯プレートやのぼり旗等による注意喚起を活用するとともに、地域住民からの要望を反映した街路灯及び見守りカメラの設置を進め、引き続き、地域ぐるみの防犯体制の構築及び防犯意識の向上を図る。 ○ 高齢者安全運転支援装置設置促進事業については、令和3年11月以降、新たに生産される国産車に設置が義務化され、本補助制度の補助件数も伸びなかった。それを踏まえ、令和4年度より事業を廃止している。 	

施策 303 高齢者福祉の充実

施策の達成度指標 ※市民満足度の向上は全施策共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分が元気であると思う65歳以上の市民の割合 ・ 介護保険の第1号被保険者に係る要支援・要介護認定率
【施策の主な方向性（令和4年度評価結果より）】	
<p>■ 介護予防事業において、高齢者が運動したり、他者とコミュニケーションをとれる機会を順調に設定できているため、事業を継続して実施するとともに、今後、関係機関との連携を強化し、参加者数を増やす方法を模索していく。</p>	

【外部評価の主な意見】
<ul style="list-style-type: none"> ● いこまいか教室等の事業について複数回参加される方が多いと思われるが、新たな参加者を増やす手法について、今後の方向性に記載してはどうか。
【令和5年度に予定する主な取組】
<ul style="list-style-type: none"> ○ 新たにICTを活用した介護予防事業として、LINEアプリを使用した自宅等からでもオンラインで参加できる認知症予防教室や軽運動とスマホ講座を組み合わせた介護予防教室を実施する。 ○ 介護予防事業に特化した情報発信を行うLINE公式アカウントを開設し、介護予防事業の開催案内等を行う。

施策 501 観光の振興

施策の達成度指標 ※市民満足度の向上は全施策共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 休日の滞在人口率（各月の休日平均滞在人口 [14時] / 国勢調査人口の年平均） ・ 清洲城の入場者数（有料）
【施策の主な方向性（令和4年度評価結果より）】	
<p>■ まちの観光・産業賑わいプロジェクトとして、大学教授、観光協会等の有識者等で構成される会議における意見を踏まえ、市内の観光・産業を盛り上げる事業やイベントを計画、実施できていると考える。令和4年度において3箇年計画の最終年度になるが、本プロジェクトの推進により、本施策の事業全体に好影響を与えると期待する。</p> <p>■ 観光消費におけるグルメは、清洲城等複数の施設をつなぎ市内滞在時間の延伸やテレビや新聞などに取り上げられることで市外からの多くの誘客が見込むことができる。</p> <p>■ 徐々に戻りつつあるある観光需要や円安によるインバウンド需要や来年放送開始の大河ドラマへの期待を考慮し、先を見据えた誘客促進策を検討する必要がある。</p>	
【外部評価の主な意見】	
<ul style="list-style-type: none"> ● 達成度指標の休日の滞在人口率について、コロナという外的要因の影響を大きく受ける指標を使い続けてもよいか。 	
【令和5年度に予定する主な取組】	
<ul style="list-style-type: none"> ◇ 観光と産業の連携による消費活性化をさらに推進するため、まちの観光・産業賑わいプロジェクトの事業期間を2年間延長し、コンテンツの効果的活用や市内事業者等が参画する特産品の開発・販売を行う。 ◇ 令和5年大河ドラマの放送に合わせて、家康公ゆかりの地やご当地グルメを楽しみ、清須と家康公の関わりを体感するツアーの造成を行い、観光消費の促進を図る。 ○ 休日の滞在人口率については、市外の観光者等が市内へ訪問し、観光地等に滞在しているかを評価するものである。そのため、新型コロナウイルス感染症の感染状況が見通せない中ではあるが、引き続き使用していく。ただし、本指標を使用する上で、数値の増減等については要因を精査する必要がある。 	